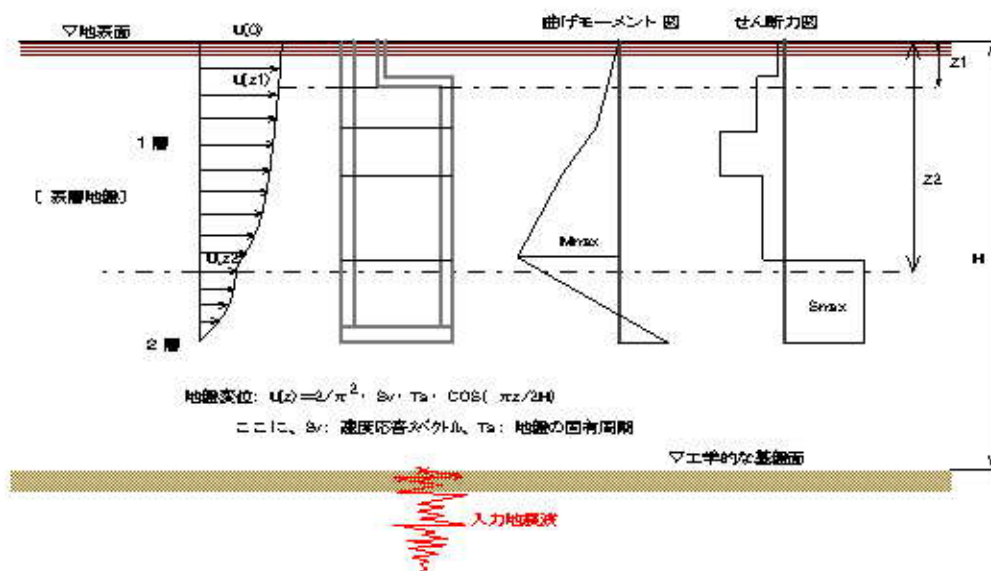


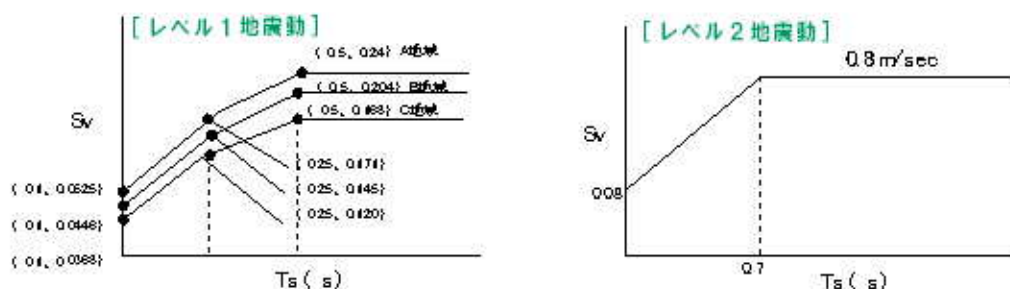
組立式マンホールの耐震設計

耐震設計シリーズ(継ぎ手、マンホール、管本体、RCボックス、PCボックス、圧送管)は、8本セットでご使用できます！



【機能の概要】

- 下水道管路の耐震設計は原則として「応答変位法」を用い、レベル1地震動・レベル2地震動の設計応答速度は以下を使用します。(下水道施設の耐震対策指針と解説、図-解6.2.2、図2.3.3)



- 解析数は、最大2ケース(レベル1地震動、レベル2地震動)に対応しています。
- 液状化の計算～断面力の計算(円形断面)～応力照査までの一連計算に対応しています。
※地盤入力データは、下水道の耐震設計シリーズ間(8本)で共有できます。
- 組立式マンホール間の継手変形特性は、バネ定数が三段階に変化するトリ・リニアなバネモデルで評価する。
- 適用基準は、「下水道施設の耐震対策指針と解説」2006年版(社団法人日本下水道協会)に準拠。
- 「連番設定」機能に対応。(連番設定とは、出力書類の章・節・項の番号振りを編集する機能です)

*記載価格には消費税が含まれておりません。

株ネオセルコ システム開発部
 広島市東区福田一丁目304-3
 TEL: 082-899-8891 FAX082-899-5901